

この度は、『ロスマンの疫学—科学的思考への誘い』をご購入いただき、厚くお礼申し上げます。誤りがございましたので、下記の通り訂正いたします。

読者の皆様には、ご迷惑をお掛けいたしましたこと、謹んでお詫び申し上げます。

2011年6月15日

正誤表

① p.89 12行

疾病事象の数〈疾病事象〉(disease event)とは疾病の発症数を意味する)を
→ 疾病事象の数_ (〈疾病事象〉(disease event)とは疾病の発症数を意味する)
を

② p.131 14行

効果の 3分の4 が消されてしまっているのである。

→ 効果の 4分の3 が消されてしまっているのである。

③ p.154 図6-2

原著の図をトレースする際に、線が微妙にずれてしまっている

→ 帰無仮説を意味する縦線と、表6-1のデータを示すカーブ(幅のひろい方)の交点はp=0.08のレベルに、一方、表6-2のデータを示すカーブ(幅の狭い方)との交点はp=0.04のレベルにあるべきところ、交点の位置がずれて表示されている。

④ p.156 10行

P値関数や信頼区間関数を見かけることはあまりない。

→ P値関数 (信頼区間関数)を見かけることはあまりない。

⑤ p.191 オッズ比の分散

$\text{Var}[\ln(\text{IR}_{\text{MH}})] \rightarrow \text{Var}[\ln(\text{OR}_{\text{MH}})]$

⑥ p.204 χ^2 乗統計量

$$\chi = \frac{\sum_i a_i - \sum_i \frac{N_{1i} - M_{1i}}{T_i}}{\sqrt{\sum_i \frac{N_{1i} N_{0i} M_{1i} M_{0i}}{T_i^2 (T_i - 1)}}} \rightarrow \chi = \frac{\sum_i a_i - \sum_i \frac{N_{1i} \times M_{1i}}{T_i}}{\sqrt{\sum_i \frac{N_{1i} N_{0i} M_{1i} M_{0i}}{T_i^2 (T_i - 1)}}}$$

$$\chi = \frac{\sum_i a_i - \sum_i \frac{PT_{1i} - M_i}{T_i}}{\sqrt{\sum_i M_i \frac{PT_{1i} PT_{0i}}{T_i^2}}} \rightarrow \chi = \frac{\sum_i a_i - \sum_i \frac{PT_{1i} \times M_i}{T_i}}{\sqrt{\sum_i M_i \frac{PT_{1i} PT_{0i}}{T_i^2}}}$$

謝辞：以上はすべて翻訳段階でのミスであり、原著では正しく記載されている。なお⑤と⑥についてはご指摘いただいた東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻生物統計学の

竹内文乃氏に感謝申し上げます。